

あなたとまちをつなぐ広報紙



January 2025

1

VOL.238

広報 きんこう



KINKO TOWN
PUBLIC RELATIONS

Kinko



／ PICK UP ／

新春座談会 新田町長×移住者

錦江町二十歳の集い

認知症とともに生きるまち大賞受賞

新春とれたてニュース

新春座談会

新田町長×移住者 / I・Uターン

移住のきっかけとお仕事

町長 人口減少社会に入っている我が国で、錦江町は年間約200人の減少となっています。そのような厳しい現状ではあるものの、社会や経済の中核的な担い手である15歳以上65歳未満の生産年齢人口、錦江町の基本テーマで言い換えると「働く世代の元気」を目指すことを最優先課題として各種政策を進めています。今回は、新年にあたり本町出身でUターンしてくれたお二人と新たに移住者としてIターンしてくれたお二人から、お話を伺います。

まずは、現在のお仕事と移住されたきっかけを教えてください。

野口 自分は26歳の時に帰ってきました。それまで千葉でシステムエンジニアとして働いてました。今の仕事は農業で、いちごを作っています。正直、錦江町に帰ってこようっていうのは全然思っていなかったのですが、父親が亡くなる前に、「もう長くない」っていうのがわかってたんで、そこで帰ってこようって決めました。

渡瀬 私も野口さんとかかなり重複してるんですが、30歳の時に母から、「父の余命があと半年だよ」という電話があった。私も全然それまで帰る気はなかったんですけど、とりあえず実家が養鶏をしていたので、父が他界するまでの間、一時的に帰ろうかなと。父が他界してからは東京に戻ったんですが、母が一人で養鶏を続けてたので、親孝行も兼ねて帰ってきました。

鍋田 私は建築の仕事をしています。その他にもNPO法人たがやすでの仕事もしながら、たまに注文販売でコーヒード豆を売ったり。移住してきたきっかけは、結婚ですね。妻が田代の出身で、何回かこっちに遊びに来たりして、いいところだなと思っていて。自分の大切な人が大好きな錦江町が、僕にとっても大事なものにだんだんなっていくって。ここで働いたり暮らしたりしていくにはどうしたらいいかなというのを考えて、今に至ります。

伊藤 私はフルート奏者として活動をしています。昨年、自分でも一般社団法人あわいという会社を立ち上げました。移住する前は、東京でフリーランスのフルート奏者として活動していたのですが、ちょうどコロナ禍になり、仕事が全然なくなってしまっ。そんな時に、都会では溢れて、地方では足りない芸術の現状を知るタイミングがあった。自分で動けるなら、地方に行ってみてみたいなって。それで、地域おこし協力隊として錦江町に着任したのが3年前。協力隊卒業後もそのまま錦江町に残りました。



「ここは、人との繋がり、命の繋がりを
感じられる大切な場所。」

建築士 29歳
鹿児島市からのIターン
錦江町在住6年目

鍋田 成宏さん[東中郡自治会]

Naruhiro Nabeta



「都会もいいけど、ここに帰って
くるとやっぱりほっとする。」

ブローラー農家 40歳
30歳のときに
東京都からUターン

渡瀬 将仁さん[厚ヶ瀬自治会]

Masahito Watase



「錦江町は“なんもないけど、
なんでもある”」

いちご農家 36歳
26歳のときに
千葉県からUターン

野口 大樹さん[富田自治会]

Hiroki Noguchi



「住民同士の距離感の近さがいい。」

錦江町地域おこし協力隊 OG
フルート奏者 29歳
東京都からのIターン
錦江町在住4年目

伊藤 愛さん[山之口自治会]

Manami Ito

将来の夢

町長 錦江町で頑張っていらっしゃる皆さんの将来の夢を教えてください。

鍋田 豊かさを感じられる暮らしを作りたいというのが僕の目標です。建築だと住宅だったり、暮らす場としての住居だったり。そういったものを作っていきたい。この町ですごく豊かだなと思うんです。

町長 例えば？

鍋田 自分のことを知らない方が快く受け入れてくれたり、年が近い友達ができたり、近所の知らないおばあちゃんの話しかけてきてくれたり。そういう人との繋がりが豊かだなと思います。
町長 「幸せ＝便利」ではない。「豊かさ＝便利」でもないということですね。

伊藤 今、私が取り組んでいる活動が、アーティストたちの居場所を作るとい



うこと。正直、「アーティストってなんかよくわからない人」って思われがち

な職業なのかなと思ってます。空き家や廃校などの広いスペースがある「地方」で活動したいって興味を持っているアーティストが実際たくさんいるんですけど、本当にちゃんと受け入れてもらえるのになんていう不安が、一歩踏み出せない理由なんじゃないかな。受け入れる側に自分が回ること、居場所作りとか、受け入れてもらえる安心感とか、そういうものが感じられる場所を作りたい。

町長 伊藤さんは田代の瀬戸口集落に空き家を借りて、リノベーションして、「アーティスト・イン・レジデンス」という取り組みをされています。田舎の人からすると珍しい人やねって思われるかもね。

伊藤 瀬戸口の人たちには「何が始まるの？」って何回も聞かれました(笑)

野口 私は、例えば、学校の跡地などを使って、新しくハウスを作りたいというのが夢ですね。そこでいちごを作って、体験をしてもらえば交流人口も増えると思う。仕事をしていて誰かに喜んでもらえるのが一番嬉しいので、漠然ですけど、考えていますね。

渡瀬 飼料や電気などの原価がかなり上がっていて、その分、飼養数や農場を増やすかっていうと、人手不足だし、イ

鍋田 綺麗な里山の風景が残っていく

といいなと思います。今はまだ農業されている方がいて、田んぼや土手が綺麗に整っている状態ですが、この先も今の綺麗な風景が続いてほしい。

野口 錦江町は第一次産業がメインだと思いますので、その中で、渡瀬さんとお話してくれたように、テクノロジーとかIoT関係とか、今転換するチャンスだと思えます。新しいチャレンジに対して、町からの支援やバックアップがあればありがたいです。

渡瀬 錦江町から転出していくのは、ここより都会の方が仕事がいっぱいあると思う方が多いからかな。親がいるから錦江町に帰ろうとか、自分が育った錦江町で仕事して頑張っていこ



定表



ンフルエンザのリスクも大きくなる。だから、AIとかテクノロジーを使って生産性を高めていければと思います。

町長 人が少ないからできないというのではなくて、デジタル技術を駆使するといろんなことができる。そんな農業ができていくと町も力強くなっていくのかもしれないですね。

錦江町での暮らし

町長 皆さん、錦江町で暮らしている中で住みやすいところや、課題とか、苦手になっていうようなことがあったら教えてください。

野口 車さえあれば大根占で必要なものは大体買えるし、特に不便さは感じないですね。

渡瀬 住みやすいところは第1次産業に直結する人が周りにいっぱいいるところですね。例えば、畑で今何作ってるんだろとか、この時期にこういうタイミングで作ってるんだとか、周

うって思えるような土台が今のうちから作れば、町も賑わっていくんじゃないかなと思います。

都会と錦江町、どっち派？

町長 皆さん都会にいらっしゃったので、都会の暮らしと錦江町の暮らし、どっちがいいですか。

伊藤 私は圧倒的にこっちです。楽器を吹くってなったら都会では家を探すのも大変。今は一軒家で、夜まで吹いても誰にも文句言われない。(笑)

鍋田 僕もこっちですね。東京とか行くと山が見えないし、建物がいっぱいで、なんか落ち着かない。「命の繋がり」みたいなものを感じて暮らしたいなど。そういうのを子供にも感じてほしい。

渡瀬 私は半々ですね。職業柄、養鶏って48日間ずっと休みがないんです。鶏を出荷したら大体3週間休みがあって、そこで次の準備とか掃除とか全部済ませて、都会に遊びに行きます。おいしいもの食べに行ったり、お酒を飲んで電車で帰ったり。でも、こっちに帰ってくるとやっぱりほっとする。

野口 渡瀬さんと同じです。都会の生活も好きでしたし、こっちに帰ってくればほっとするし。今も野球観戦が好きなので、年に1回は見に行きます。でも、そういうことはここではできな

りを見て学べる。課題は、サンドームが人工芝だったらもっと使いやすくなるんじゃないかなってことくらいですね。

鍋田 暮らすには申し分ないと思っています。星空が綺麗ですし。ロマンチストみたいですけど(笑) 将来、深刻な課題になるかなって思うのが、子供の人数。少ないことが悪いことではないんですけど、同級生が少ない分、できる部活動とか活動的なところが制限されてしまうのではないかなと思います。

伊藤 すぐく住みやすいと感じています。近所の方が野菜を置いていってくださったり、大家さんとの距離感が近かったり。やっぱり若い人が少ない、移住者が少ないっていうことが課題



い。都会はなんでもあるけど、ここは「なんもないけど、なんでもある」。

町長 なんもないけど、なんでもある。わかる気がします。都会と地方というような、その対立軸で話をしちゃいけないのかもしれないですね。都会の良さもあるし、地方の良さもある。自分の生活の拠点がたまたまこっちだったっていう。私たちの町づくりの中でも、対立軸で物事を考えてきたところがあるのかもしれない。

今回は、形は異なりますが移住された4人の方々にお話を伺いました。皆さん、錦江町の地域資源をしっかりと捉え、自分の可能性に向かって挑戦されている。令和7年、錦江町も皆さんと同様に、町民の小さな幸せ実現のため、各世代の知恵を結集し、体力のある町づくりを進めていきます。

今年の二十歳の集いは平成 16 年度生まれが対象。
錦江町では対象者 89 名のうち 46 名が参加し、
大人への第一歩を踏み出しました。

二十歳 89 名 (46 名)

大根占地区 65 名 (33 名)

田代地区 24 名 (13 名)

※ () 内は参加者数

令和 7 年

錦江町二十歳の集い



まさひと
栗脇 正仁さん [新田自治会]

支えてくれた周囲の方に
感謝。日々楽しむことを
忘れずに人生を歩みたい。

私自身は現在、一人前の現場監督になるため日々の業務に励んでいます。そして、将来的には一級建築施工管理技士の資格をとり、自分で建てた建物を自慢できるよう、勉強の毎日です。

自らの 20 年を振り返ってみると、私は周囲の人に恵まれてきたと感じました。共に自らを高めあえた友人、頼れる先輩方、ご指導いただいた先生方、優しく見守ってくれた地域の方々、そして何より、いつでも愛情をそそいで優しく厳しく私を育ててくれた両親のおかげで、今日こうして無事に「二十歳の集い」を迎えることができた深く感謝しております。これからも、周囲の人に感謝の気持ちを忘れずに、1 人の人間として成長し、日々楽しむことを忘れずに人生を歩んでいきたいと思ひます。



はるき
久保 春貴さん [神川上自治会]

錦江町で育ったことが誇り。
感謝の気持ちを忘れず生き
ていくことを誓います。

振り返ってみると私は人との出会いに本当に恵まれてきました。いつもわたしの周りには共に高めあえる仲間や尊敬できる先輩方がいました。素敵な方々に囲まれて、いま充実した日々を過ごしていると強く感じます。

そうした人とのめぐり合いは錦江町から始まっています。錦江町には心を和らげてくれる大きな自然や、明日も頑張ろうと思える素晴らしい夕日があります。また町の方々も温かく、すれ違うと挨拶をいただくことが多くあります。この温かな町で育ったからこそ今の私があるのだと深く感じるとともに、この町で育ったことは私の誇りです。多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに生きていくことをここに誓います。



実行副委員長
山下 慎さん

式典後は、保護者や恩師、友人たちと晴れ姿で記念撮影。祝福や激励を受けながら、未来への希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。

二十歳の主張は久保春貴さん、栗脇正仁さんが代表して、これまでの感謝、これからの決意を力強く主張。式典の最後は、実行委員会副委員長を務めた山下慎さんが、「これから、この故郷で育ったことを誇りに思い、大人としての自覚を持って行動していきます」と宣言し、感謝の気持ちを述べました。

式典では、小中学校時代を写真で振り返るスライドショーが上映され、当時のなつかしい写真の数々に会場からは笑いや歓声が上がりました。

二十歳の主張は久保春貴さん、栗脇正仁さんが代表して、これまでの感謝、これからの決意を力強く主張。式典の最後は、実行委員会副委員長を務めた山下慎さんが、「これから、この故郷で育ったことを誇りに思い、大人としての自覚を持って行動していきます」と宣言し、感謝の気持ちを述べました。

2004 年 (平成 16 年) の主な出来事

▶九州新幹線新八代駅～鹿児島中央駅間が開業▶新紙幣発行 (1 万円札が福澤諭吉、5 千円札が樋口一葉、千円札が野口英世)▶アテネオリンピック、日本金メダル 16 個の快挙▶小説『世界の中心で愛をさけぶ』が大ヒット映画化

未来への希望を胸に
新たな一歩を踏み出した



実行委員長
土岐 肇桜さん



受賞記念特別講演会
を開催します！



放送決定

NHK Eテレ「ハートネットTV」内で、『認知症バリアフリーのまち大集合！2025』と題し、錦江町の取り組みが紹介されます。是非、ご覧ください。

●放送日時

本放送 1月21日
20:00～

再放送 1月28日
5:55～

再々放送 1月29日
0:30～



第8回NHK厚生文化事業団 「認知症とともに生きるまち大賞」 受賞記念特別講演会

参加
無料

認知症基本法の施行を踏まえた 『ともに生きるまちづくり』

2025年 2月9日(日)

受付 9:00- 9:30
感謝状贈呈式 9:30-10:00
講演会 10:00-12:00

錦江町文化センター
2階大会議室
(肝属郡錦江町城元910番地)

定員120名(先着順)

ご参加には**事前申込**が必要です。
お手持ちのスマートフォンで、下の
QRコードを読み込んでください。



【申込期限】
令和7年1月31日(金)まで

※定員に達し次第、受付を終了します。
※下記のお電話での受付も承っております。

【お問い合わせ】 錦江町役場 介護福祉課 地域包括支援センター 本村・金川
住所：肝属郡錦江町城元963 TEL：0994-22-3030



【講師】 まちなが としお
町 永 俊 雄 氏
福祉ジャーナリスト

(講師プロフィール)

1971年NHK入局。
「おはようジャーナル」「NHKスペシャル」などのキャスターとして、経済、暮らし、教育、福祉などの情報番組を担当。

2004年からは、「福祉ネットワーク」キャスターとして、障がい、医療、うつ、認知症、家族など現代の福祉をテーマとしてとりあげている。

現在は福祉ジャーナリストとして、認知症や高齢社会、共生社会の在り方をめぐり、執筆の他、各地でシンポジウムや講演活動を行っている。



認知症フレンドリーな錦江町づくりプロジェクトとは
「安心して認知症になれるまち」を目指し、「①普及啓発」「②認知症カフェ」「③まちづくり」を三本柱にした取り組みです。それぞれの取り組みをご紹介します。

錦江町が令和3年度から取り組んでいる認知症フレンドリーな錦江町づくりプロジェクト。この取り組みが評価され、見事大賞に輝きました。

① 普及啓発活動

すべての町民に認知症や認知症の人に対するこれまでのイメージを変えてもらいたい。そんな願いから、スタートした普及啓発活動。
国内や海外で認知症当事者の思いを発信する活動をされている丹野智文さんをお招きし、町内各小学校で交流会を実施。子どもたちの認知症への理解を深め、認知症の方とどう関わっていけばよいのか、自分が認知症になったらどう生きていけばよいのかなどを考える機会を作っています。



② 認知症カフェ

認知症があっても、やりたいうちにチャレンジし、社会や当事者同士でつながっていく場所や仕組みをつくることを目指して開催されている認知症カフェ、通称「ゆうゆうカフェ」。毎週水曜日に開催し、当事者同士の交流が行われています。
今年度から新たに、事業所と連携した「ハタラク」取組を始めました。参加者の皆さんに、いくつかの選択肢を提示し、その日の活動を自己決定してもらいます。あわせて、事業所と連携し、その活動を有償にする取り組みも始まりました。参加者の皆さんが望まれる有償の形を事業所側と交渉し、決定します。



③ まちづくり

認知症フレンドリーパートナー養成講座を受講して下さった町民の有志の皆さんにご参画いただき、「チームあ!!おEOM(アットホーム)」を立ち上げ、役場といっしょになって取り組んでいただいています。これまでに、「認知症フレンドリー事業所」や町内二つの図書室の「認知症との出会いコーナー」、「トランク・ライブラリー」等の取り組みをスタートさせました。
また、当事者の声を出発点として、無人販売所などを活用した「交流拠点づくり」や、「外出手段の開発」「多世代交流」といった6つのテーマを設定して町民主体で活動していく「Tom Project」などにも取り組んでいます。



鹿児島県内では初受賞

「認知症とともに生きるまち大賞」受賞



「8020 運動」達成の6名をご紹介します



下之菌 勝昭さん
(24 本 / 本町)



中原 光男 さん
(22 本 / 早瀬)



原口 茂夫 さん
(24 本 / 麓)



白川 ハル子さん
(22 本 / 鳥井戸)



小吉 ヒロ子さん
(25 本 / 上原)



大原 トミ子さん
(24 本 / 大原)

80 歳で 20 本以上の歯がある方を表彰する「8020 運動」。令和 6 年度は 6 名の方が受賞されました。みなさん照れながらも素敵な笑顔を見せてくれました。

100 歳 おめでとうございます！



皆銭 ヨシ子さん(大正 13 年 11 月 2 日生)



皆倉 チャ子さん(大正 13 年 12 月 10 日生)



大園 エキさん(大正 13 年 12 月 15 日生)

企業版ふるさと納税 感謝状贈呈式を開催

昨年度、企業版ふるさと納税として寄附をいただいた企業へ、感謝状の贈呈を行いました。いただいた寄附は、アントレプレナーシップ教育事業や木質バイオマス施設管理事業などの「錦江町 MIRAI づくりプロジェクト」に活用させていただいております。



光陽オリエントジャパン株式会社 (埼玉県)
写真左より 清藤 隆雄 会長 清藤 新一郎 社長



株式会社南九 (鹿屋市)
山下 幸一 会長



おおすみ半島スマートエネルギー株式会社
村上 博紀 社長 (肝付町)

第 9 回「未来」想像・創造コンテスト 受賞者が決定



『10 年後の錦江町はどんな町になってほしいですか』をテーマに、第 9 回未来想像・創造コンテストの表彰式が 12 月 19 日に開催されました。寄せられた 105 件の想い・発想・知恵の中から、特に優秀な提案を選出し、MIRAI 創生協議会城下会長から受賞者に表彰状が授与されました。また、表彰式後には協議会から町へ政策提言書の提出が行われました。提案の実現に向けて取り組んでいきます。ご応募いただいた全ての皆さま、ありがとうございました。

12 歳以下の部

最優秀賞 大寺 いろは さん

▶「子どもからお年寄りまで生活しやすい町づくり【コミュニティバスの運行】」

優秀賞 榎元 遥香 さん

▶「ガチャガチャを町のあっちこっちにおく」

優秀賞 鶴園 龍真 さん

▶「閉校した学校の体育館に町の市場や遊び場がある町」

13 ～ 18 歳の部

最優秀賞 小林 柚葵 さん

▶「古くからある伝統芸能を活用し、美しい自然を守っている町」

優秀賞 小林 柚葵 さん

▶「花火やイベント、違う町からの移住」

南大隅高校の部

優秀賞 永江 亜咲美 さん

▶「花瀬川や周囲の川にホテルを取り戻す」

優秀賞 三宅 円 さん

▶「錦江町を PR する動画作成～農業～」

19 ～ 39 歳の部

優秀賞 福山 千夏 さん

▶「農業で交流機会をふやす町」

優秀賞 猪鹿倉 志奏 さん

▶「空き家を利用して地域活性化を図る町」

40 ～ 64 歳の部

最優秀賞 鈴木 京子 さん

▶「インフラを整備する。錦江町を多くの人に知ってもらう」

65 歳以上の部

優秀賞 早瀬 すみ子 さん

▶「農業で生活できる町づくり」



問合せ ▶ 錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会 ☎ 0994-25-1001

住民生活課 ☎ 25-2511



ステンレス製作業台 2台
旧田代給食センター備品の売却

旧田代給食センターで使用していた備品を売却しますので、購入を希望される方は、1月28日までに入札参加申込書を提出してください。詳細は田代支所住民生活課までお問い合わせください。

売却備品



ステンレス製作業台 (大) ステンレス製作業台 (小)

参加資格 ▶ ①町内に住所を有する個人及び法人
②税金や水道料などに未納がない方
※その他詳細情報は入札説明書でご確認ください
提出書類 ▶ 入札参加申込書
提出先 ▶ 田代支所住民生活課
提出期限 ▶ 1月28日 ☎ 17時必着

落札物件の引き渡しは設置場所での現状引き渡しとし、引き渡し後の不調や故障についての補償は一切行いません。引き渡しに係る経費については落札者負担とします。

●お問い合わせ先 住民生活課 ☎ 25-2511

建設課 ☎ 22-3033



盛土や切土、土砂の仮置きに許可が必要
盛土規制法の運用が始まります

盛土等に伴う災害から人命を守るため、令和7年5月1日 ☎ に、錦江町全域が危険な盛土等を規制する区域に指定される予定です。運用開始後は一定規模以上の盛土や切土、一時的な土砂の仮置きについて、安全基準に適合させるとともに、鹿児島県の許可が必要となります。



※詳しくは二次元コードから鹿児島県のホームページをご確認ください。
●お問い合わせ先
鹿児島県土木部建築課 盛土等規制対策班
☎ 099-286-3695

健康保険課 ☎ 22-3044



食に関する知識を学びたい方、大募集！
食生活改善推進員養成講座 開講

令和7年6月頃から月に1回、1年かけて食生活改善推進員養成講座を行います。管理栄養士・保健師・歯科衛生士等と2時間ほどの勉強会を行い、9割以上出席された方は「食生活改善推進員」として協会に入会できます。

食生活改善推進員とは

地域の食生活を改善する人を意味します。実際に地域の食に触れ食に関する講習を受けたり、あるいは自分たちで料理教室をしたりと様々なボランティア活動をしています。



募集締切 ▶ 3月31日 ☎
定員 ▶ 5名 (先着順)
対象 ▶ 性別を問わず、錦江町在住の方
受講料 ▶ 無料
申込み方法 ▶ お電話にてお申込みください。
●お問い合わせ先 健康保険課 ☎ 22-3044

観光交流課 ☎ 28-2488



令和7年4月～営業を行う使用者を募集
奥花瀬自然公園休憩施設 (現：瀬々来樹館)

奥花瀬自然公園休憩施設 (現在「そうめん流し瀬々来樹館」として運営) で令和7年4月から事業を行う利用者を募集します。

施設確認期間 ▶ 1月14日 ☎～21日 ☎
(※要事前連絡)
質問票提出期限 ▶ 1月21日 ☎
申請書提出期間 ▶ 1月27日 ☎～2月4日 ☎
プレゼンテーション審査会 ▶ 2月12日 ☎

※詳しい応募要件等については、町ホームページまたは観光交流課に準備してある募集要項をご覧ください。



●お問い合わせ先 観光交流課 ☎ 28-2488

教育課 ☎ 22-0517



「こんな講座があったらいいな」ご意見ください
生涯学習講座内容を募集します

錦江町では「いつでも、どこでも、だれでも」気軽に学習する場として「生涯学習講座」を毎年開講しています。町民の皆さまからの「こんな講座があったら参加したいな」「こんな講座を開講して講師として活躍したいな」というご意見を募集します。

募集締切 ▶ 1月31日 ☎

応募方法 ▶ 電話・窓口・二次元コードから



◀開催してほしい講座がある方はこちらから



◀講師希望は こちらから

※講師や他の講座等の兼ね合いにより、開講できない場合もあります。
●お問い合わせ先 教育課 ☎ 22-0517

健康保険課 ☎ 22-3044



風しんの抗体、持っていますか？
40～50代男性の方はご確認を

風しんは、成人がかかると症状が重くなることがあります。また、妊婦さんが風しんに感染すると赤ちゃんが障害をもって生まれる可能性があります。

公的予防接種が行われていない年代の方に、無料で風しんの抗体検査と予防接種を受けられるクーポンをお送りしています。

あなた自身と、これから生まれてくる世代の子どもを守るために、ぜひ風しん抗体検査と予防接種を受けてください。

対象者 ▶ 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生の男性
実施期間 ▶ 令和7年2月28日 ☎まで



検査手順

①医療機関 (医師会立病院・大根占医院) へ予約。
②クーポンを持参して検査を受ける。
③風しん抗体検査を受けた結果、十分な量の抗体がないことが判明した方は、引き続き予防接種を受ける。
※クーポンを紛失された方は再発行いたしますので、ご相談ください。

●お問い合わせ先 健康保険課 ☎ 22-3044

教育課 ☎ 22-0517



2講座の受講生を募集します
生涯学習県民大学講座 錦江町で開催

錦江町では2つの講座を開講します。受講を希望される方は、電話・ファックス・二次元コードからお申し込みください。

開催期日 ▶ 2月1日 ☎

開催場所 ▶ 錦江町総合交流センター3階多目的室
定員 ▶ 各講座30名



受講料 ▶ 無料

申込み先 ▶ 教育課生涯学習チーム ☎ 22-0517
※右上の二次元コードからもお申し込みできます。

講座① 10:30～12:00 (受付10:00～10:20)

健康寿命延伸のための運動の効果と実践

講師 鹿屋体育大学スポーツ生命科学系
中垣内 真樹 教授
●中高齢者を対象とした健康づくりや介護予防のための運動の効果や運動の実践方法について教授します。講義のみならず簡単に実践できる運動を紹介します。(実技あり)

講座② 13:30～15:00 (受付13:00～13:20)

いつまでも若々しく活力ある日々のために
～健康寿命を延ばす生活習慣～

講師 元鹿児島純心女子大学 根建 洋子 教授
●客観的な事実を私たちに教えてくれる科学的・統計的なデータにも触れながら、信頼性の高い情報をもとに、健康寿命の延伸にもつながる望ましい生活習慣についてお話しします。



※本事業の活動風景の写真等を広報紙等に使用することがあります。
※電話番号等については、条例に基づき、本事業に関することに限り使用するとともに、適正に管理します。
※先着順となりますので、早めにお申し込みください。
※参加にあたって配慮や支援が必要な場合は、お気軽にご相談ください。

●お問い合わせ先 教育課 ☎ 22-0517



3階議場を改修し、文化振興の拠点に 田代支所に多目的ホール完成

町民の交流と文化振興の拠点として、令和6年11月に田代支所3階議場を多目的ホールへと改修しました。文化系の催物や講演会、パブリックビューイングなど多目的に利用できる施設となっていますので、是非ご利用ください。

多目的ホール詳細

収容人数 ▶ 約 120 名
(ホール：約 100 名、傍聴席：約 20 名)
設備 ▶ 音響・照明・映像設備
利用時間 ▶ 午前9時から午後10時まで
利用料金 ▶ 下の表のとおり

ホール	入場料等を徴収しない場合	1時間	500円
	入場料等を徴収する場合	1時間	2,000円
	舞台のみ利用する場合	1時間	200円
	楽屋1	1時間	100円
	楽屋2	1時間	100円

利用の仕方

住民生活課 (☎ 25-2511) までご連絡の上、お申込みください。

●お問い合わせ先 田代支所 住民生活課 ☎ 25-2511



舞台



客席



楽屋1



楽屋2

こけら落としコンサートが開催されました



12月22日に「音楽仲間集い こけら落としコンサート」が開催され、多くの観客が来場しました。錦江町文化協会会長の河野洋子さんによる祝儀舞で幕を開けた本公演。ジョイサウンズをはじめ、ハーモニカクラブロマン、コール錦江など、地元で活動する皆さんの演奏や歌声が新しいホールに響き渡りました。

12月22日に「音楽仲間集い こけら落としコンサート」が開催され、多くの観客が来場しました。錦江町文化協会会長の河野洋子さんによる祝儀舞で幕を開けた本公演。ジョイサウンズをはじめ、ハーモニカクラブロマン、コール錦江など、地元で活動する皆さんの演奏や歌声が新しいホールに響き渡りました。

政策企画課 ☎ 22-3032 産業振興課 ☎ 22-3034

報告会詳細

日時 ▶ 2月17日(日) 18時～20時30分

場所 ▶ 錦江町総合交流センター3階

申込み方法 ▶ 二次元コードまたは問い合わせ先までお電話ください。



【職員研修】

行政職員が、所属課に関わらず「1町民として」解決したいテーマを掲げ、4つのプロジェクトに分かれて活動を行ってきました。事業化を目指す。現在も活動を続けています。
(プロジェクト例)
①多世代の居場所づくり
②空き家活用＆住まいの選択肢を増やす
③子どもを応援する親や家庭の環境づくり
④子どもの「やればできる!」を育む

【共創プロジェクト】

第三次錦江町総合振興計画の策定業務の一環で、行政職員と地域住民が協働して、計画の策定だけでなく具体的なプロジェクトの創出・実行まで取り組んできました。



地域と職員の挑戦!

プロジェクト成果報告会を開催します

錦江町では、新しい事業を生み出す起業家や事業者を応援する取り組みがスタートしています。しかし、そこには、役場職員自身の意識や行動も変わる必要もあるのではないかと。

そんな思いから、役場では事業をプロデュースできる人材を育てるため、職員15名が2年間にわたる「職員研修」に挑んできました。

さらに、この取り組みを役場内だけに留めず、地域の皆さんと力を合わせて進めるため、現在「役場×住民」が共創して事業に取り組む「共創プロジェクト」を実施しています。

当日は、これまでの取り組みや今後の展望についてお話しします。参加は無料、どなたでも参加可能です!

そして、2つのプロジェクトを前進させるためにはみなさんの声が不可欠です。

ぜひご参加いただき、「こうしたら、もっと楽しくなるのではないか」「私も一緒に挑戦してみたい」など、ご意見をお聞かせください!

●お問い合わせ先

職員研修 産業振興課 ☎ 22-3034

共創プロジェクト 政策企画課 ☎ 22-3032

介護福祉課 ☎ 22-3042



12月支給分から制度が改正されています 児童手当申請忘れはありませんか

児童手当制度が令和6年10月(12月支給)から改正になり、支給対象児童の範囲や支給額が拡充されました。

令和7年3月31日(日)までに申請があった場合は、令和6年10月分から遡って支給しますので、申請漏れのないようにご注意ください。

申請が必要な方(例)

児童手当を受給していない方

◎中学生以下の児童を養育しておらず、高校生年代の児童のみを養育している方(大学生年代の兄弟等がいる場合を含む)

児童手当を受給している方

◎受給者が経済的負担をしている大学生年代の子がいる、かつ、その子を含め3人以上の子を養育している方

振込通知書の廃止

制度の改正に伴い、これまで送付していた「支払通知書」は、令和7年2月支給分から廃止となります。

今後の支給金額等の確認については、支払日である2月、4月、6月、8月、10月、12月の各10日(10日が土日祝日の場合は、金融機関の前営業日)以降に、通帳の記帳によりご確認ください。

●お問い合わせ先 介護福祉課 ☎ 22-3042
田代支所 住民生活課 ☎ 25-2511

住民税務課 ☎ 22-3039



電話による一時停止の手続きを マイナンバーカードを紛失したら

マイナンバーカードを失くした場合には、直ちに以下の電話番号に連絡し、マイナンバーカードの一時停止を行ってください。

総合フリーダイヤル ▶ 0120-95-0178

※プッシュ通知「2」

全国共通ナビダイヤル ▶ 0570-783-578

※通話料金が掛かります

※IP電話等で繋がらない場合は050-3818-1250へお電話ください。

併せて錦江町役場の本庁(住民税務課)・田代支所(住民生活課)の窓口で紛失等の届出を行ってください。
※マイナンバーカードの一時停止後にカードが見つかった場合、紛失等の申請を行う前であれば、役場窓口で一時停止の解除を行うことができます。

※マイナンバーカードを拾った場合は、最寄りの交番・警察署へ落とし物として届け出をお願いいたします。

●お問い合わせ先 住民税務課 ☎ 22-3039
田代支所 住民生活課 ☎ 25-2511

総務課 ☎ 22-0511



申込期限は令和7年2月3日(日)まで 令和7年度錦江町職員を募集

令和7年度錦江町職員を募集します。一次試験を2月16日(日)に行いますので、受験を希望される方は2月3日(日)までにお申し込みください。

募集職種 ▶ 初級一般事務

一次試験 ▶ 2月16日(日) 午前9時から

二次試験 ▶ 3月9日(日)

試験会場 ▶ 錦江町役場 本庁3階

受付期間 ▶ 12月25日(金)～令和7年2月3日(日) (17時必着)

受験資格

◎一般事務

昭和54年4月2日(45歳)から平成19年4月1日(18歳)までに生まれた者で、高等学校卒業以上の者。または令和7年3月に卒業見込みの者。



申込方法 提出期限は2月3日(日) 17時まで

◎申込書は、総務課または田代支所住民生活課、町ホームページで取得できます。

◎申込書に必要事項を記入し、下記提出先まで持参か郵送で提出してください。くわしくは錦江町ホームページをご覧ください。



●提出先・問い合わせ先

〒893-2302

鹿児島県肝属郡錦江町城元 963 番地
錦江町役場総務課 職員採用担当 宛

☎ 0994-22-0511

あけましておめでとうございます！
今年も「錦江町」の図書室を、
どうぞよろしく願ひ致します。

図書室からのビッグでブックなお話です！新作や、あの話題作をご紹介。

いま話題のあの本を毎月ご紹介！

話題

架空犯

著：東野圭吾



「まるで幽霊を追いかけているようだ」
焼け落ちた屋敷から見つかったのは、
都議会議員と元女優夫婦の遺体だった。
華やかな人生を送ってきた二人に
何が起きたのか。「誰にでも青春が
あった。被害者にも犯人にも、そして
刑事にも——。」
『白鳥とコウモリ』から約4年。五代
刑事待望のシリーズ最新作！

いま話題の本を毎月ご紹介

図書司書補が厳選する今月の1冊

ひまわり

著：新川帆立

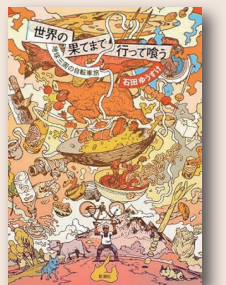


おしゃべりと食べることが大好きな
33歳のひまわりはある夏の日、出張帰
りに交通事故に遭い、頸髄を損傷して
しまう。意識は明瞭。だけど、身体だ
けが動かない。過酷なりハビリに、復
職もできない。突きつけられたのは厳
しい現実。ひまわりは自立を目指し司法
試験受験を決意する。落涙必至の、人
生応援小説。

文化センター図書室

やま図

世界の果てまで行って喰う／世界三周の自転車旅
著：石田ゆうすけ



衣食住の一切を自転車に鬼積みして、
スマホを持たず、ひとりで旅をする。
どんなに準備しても予測不能な事件に
ぶち当たるのはなぜ？そして試練を乗
り越えた先に、地球三周の食べ歩きで
出会ったとびっきりの天国メシと地獄
メシ。心震える涙メシをみずみずしく、
旅情たっぷり描いた胃袋旅行記。

やまんなか図書室

今月の新着本



迷犬マジック4

著：山本甲士



0〜3歳までの実践版
モンテッソーリ教育で才能
をぐんぐん伸ばす！
著：藤崎達宏



誰かがこの町で

著：佐野広美



サンセット・サンライズ

著：榎周平



ルーティンズ

著：長嶋有



富士山

著：平野啓一郎

子どもたちにオススメの本



児童書

いつかの約束 1945
作：山本悦子 絵：平澤朋子



絵本

しばらくあかちゃんになりますので
作：ヨシタケシンスケ

2025年2月22日㊥「読書まつり」を開催

《内 容》読み聞かせやワークショップなど

《場 所》やまんなか図書室

《時 間》午前10：00～

※開始時間の15分前までにお越しください。

《用意する物》水分補給の飲み物

道具などはこちらで準備します。事前のお申込み
も必要ありませんので、ご自由にご参加ください。



教育課 / 文化センター図書室 (大根占) ☎ 0994-22-0517

開館時間 ▶ 午前9時～午後5時まで (12時～13時閉館)

やまんなか図書室 (田代) ☎ 0994-25-2511

休館日 ▶ ㊥ 毎週月曜 (祝日の場合は翌日休館) ㊦ 毎週火曜

※㊥=文化センター図書室 ㊦=やまんなか図書室

あなたをずっと支え続けるための国民年金

20歳になると
国民年金への加入が法律により
義務付けられています

住 民 税 務 課 ☎ 0994-22-3039
住 民 生 活 課 ☎ 0994-25-2511
鹿屋年金事務所 ☎ 0994-42-5121

納付が困難な時に
学生納付特例制度があります

20歳以上の学生で、所得が少な
く保険料を納めることが困難な場
合、ご本人の申請により保険料の
納付が猶予される制度です。

対象は、大学(大学院・短期大学
を含む)や、専門学校、夜間学校、
通信制の学校等です。

「もしものときに安心！」

申請が遅れると、保証が受けれ
ない場合があります。学生納付
特例が承認されますと、この期間
中にケガや、病気で障害が残った
または、死亡した場合、障害基礎
年金や遺族基礎年金を受けられま
す。

手続きが簡単です！

申請書に学生証のコピーを添付
して申請するだけです。

20歳になれば、2週間程度で「国
民年金加入のお知らせ」や、学生
納付特例制度の申請書などが届き

ます。
在学予定の記入で、翌年度が便利
に！

次回からは、申請書ハガキに必
要な事項を記入し、提出するだけ
です。

初めて申請する際、翌年度以降
も在学予定の方は「在学予定期間」
を記入されますと、次回(翌年度)
からは「申請書ハガキ」と「手続き
のお知らせ」をお送りします。

マイナンバーから学生納付特例
申請ができます

スマホ、マイナンバーカード、
学生証があればいつでもどこでも
申請できます。処理状況も申請結
果も確認できます。

「ねんきんネット」には便利な機能
があります

いつでもどこでもスマートフォン
やパソコンから、年金情報の確
認や各種手続きが行えるサービス
です。

・ご自身の国民年金の記録や、お
勤めになられた会社の履歴、標準
報酬月額、賞与額が確認できます。
・働きながら年金を受け取る場合
や、年金の受給開始を遅らせる場
合など、さまざまな条件に合わせ
た年金見込み額の試算ができます。

●お問い合わせ 鹿屋年金事務所
☎ 0994-42-5121

安心の 365 日・24 時間受付

家族葬、自宅葬から一般葬まで

「もしも…」の時。すぐ、お電話ください。

すぐ、お迎えに参ります。



総合葬祭
ルミエールなんぐう
愛・まごころ Lumiere

錦江町馬場 2142 番地 1 (タイヨーさん隣)
Tel (0994) 28-3491・Tel (0994) 24-4444



正社員・パート 募集中



作業時間 8:20～17:00
※パート 9:00～
作業時間: 5時間～
(1時間単位で選択可能)
年末年始、GW、お盆 長期休み有
工場見学もOKなので連絡下さい

初心者でも大歓迎！
学生体育着(ジャージ)を製造

南大隅町根占横別府 2388 番地
管公アパレル(株) 東根占第一工場
TEL 24-5377 担当: 白石



常勤・パートの職員を募集！

募集職種 ▶ 管理栄養士または栄養士(常勤)
調理員(常勤・パート)
看護職員(常勤・パート)

※介護職員等その他職種もご相談ください。
勤務条件などはご相談に応じますので、
お気軽にお問い合わせください。



特別養護老人ホーム
デイサービスセンター
グループホーム

南松園 0994-25-2174

肝属郡医師会立病院 急募

●看護師・准看護師(常勤・パート)

【配属先】病棟、外来、透析室
※経験年数に応じて別途、調整手当支給
※病棟勤務は夜勤あり(別途、夜勤手当支給)

●視能訓練士(常勤・パート)・・・若干名

両職種 入職1年後 赴任手当
常勤 20万円(准看護師 10万円)・パート 5万円支給

問合せ先 総務課庶務係 ☎ 0994-22-3111

肝属郡医師会立病院 急募

宿日直施設管理員

◆2級ボイラー技士 ※必須資格

17:00～翌8:30までの勤務(勤務表で変動あり)

時給 1,000円 当直手当 4,000円/回

各種手当支給 各種保険加入

□お気軽にお問い合わせください□

問合せ先 総務課庶務係 ☎ 0994-22-3111

行政書士内園博巳事務所

相続・贈与・売買・農地転用・内容証明・補助金
離婚協議書・交通事故・死後事務委任契約書
行政書士内園博巳事務所まで

※来所前に必ず
予約が必要です

内園博巳

検索



園南大隅町根占川北 4878-イ ☎ 090-3010-6619

戦後から 79 年、思いを馳せご冥福を祈る 戦没者・殉職者合同追悼式を開催

12月17日、総合交流センターで行われた「戦没者・殉職者合同追悼式」に約30名が参列し、黙とうを捧げて亡くなられた方々へご冥福を祈りました。遺族会の久保幸雄会長は「多くのかげがえのない命が失われた深い悲しみは今でも尽きることはない」と追悼の言葉を述べ、遺族や関係者が献花台に菊の花を手向け追悼しました。



戦争が終わり今年で79年。今の平和な暮らしが、多くの犠牲の上に築かれていることを後世に伝えていく必要があります。

錦江中の桑原陽翔^{たかと}さんは「耳標をつけるのは初めてでドキドキした。思っていたより力を入れないとつけられなかった。」と話しました。



錦江町の中学3年生 57 名が畜産業を学ぶ 牛の見分け方や安全管理など学習

町の基幹産業である畜産業について理解を深めてもらおうと、6年前から始まった「畜産業を学ぶ会」が12月6日に開催されました。牛の見分け方や安全管理についての学習、子牛への「耳標」取り付け体験が行われ、錦江中と田代中の3年生57名が参加。錦江町産の牛・豚・鶏肉のバーベキューも行われ、農家や関係者との交流が図られました。



2年の川畑志乃^{しの}さんは「气象台から出される警戒レベルによって、自分たちが取るべき行動が変わってくることを学んだ。少しでも危ないと感じたら、家族とすぐに避難したい。」と語りました。



防災気象情報をもとに冷静に避難

田代中で防災教室開催

鹿児島地方気象台の現役予報官2名を講師に招き、田代中全校生徒に向けた防災教室を行いました。生徒たちは、气象台から発表される防災気象情報とそれらに対する正しい対応についてワークショップ形式で学習。グループごとに居住エリア、家族構成、家屋状況など異なる条件を設定し、どのタイミングでどのように避難すべきか意見を出し合いました。

日本の文化を通して交流を 大根占小学校で餅つき大会開催

12月14日、大根占小学校で餅つき大会が開催されました。今回は錦江町にきている外国人技能実習生等も9名参加し、児童と一緒に餅つき体験を行いました。外国人の方と一緒に餅をついた大根占小4年^{せいのみすけ}迫誠之介さんは「今まで外国人の方と接したことがなかったが、国の言葉も知れて良かった。今後も関わってみたい」と話してくれました。



子どもたちからインドネシア語の挨拶をしたり、積極的に話しかける様子もあり、餅つきを通して交流が生まれました。

大原地区公民館青年部の山元大志^{だいし}さんは「大原小にたくさんの子どもの声が溢れていた。今後も続けていきたい。」と語りました。



閉校後の跡地活用の可能性を探る 大原スクールマーケット大盛況

12月15日、今年度で閉校になる大原小を会場とした「大原スクールマーケット」が開催されました。大原地区公民館が主催し、屋外では飲食の販売、体育館ではジョイサウンズや伊藤愛さんによる演奏や、体験ブース、雑貨の販売などが行われました。会場は町内外からの観客で大にぎわい。閉校前の大原小に活気が戻り、笑顔あふれる1日となりました。

プロ歌手2名 庄巻の歌声響き渡る ハートフルコンサート 満員御礼

12月1日、町文化センターにて町制施行20周年記念「渡辺真知子・秋川雅史ハートフルコンサート」が開催されました。チケットは完売し、開場前には長い列ができるほどの盛況ぶり。満席のホールには渡辺さんと秋川さんの力強い歌声が響き渡り、会場は大いに盛り上がりました。



「♪かもめが翔んだ日」や「♪千の風になって」が披露されると、会場の盛り上がりは最高潮に。拍手や声援が送られました。

大根占小4年の柳田大輝^{だい}さんは「豚肉が甘くておいしかった。もりもり食べて元気いっぱい。」と満面の笑顔を見せてくれました。



「1129の日」にちなんで舞桜豚ふるまい 仮屋ファームが豚肉 35 キロ提供

給食用食材に、(有)仮屋ファームから舞桜豚 35kgが提供され、11月29日に町内8小中学校で「舞桜豚の甘辛丼」約500食がふるまわれました。舞桜豚の提供は今年で7回目。毎年この日を楽しみにしている子どももいるそう。代表の仮屋順平^{まおうとん}さんは「残さず食べて、子どもたちに元気になってもらえれば」と語りました。

各種教室や相談、住宅情報、在宅当番医など暮らしに役立つ情報満載のコーナーです！

戸籍に関する情報は ホームページ上では 掲載していません

ニュース

ベトナム料理教室 開催



12月15日、国際交流員のアインさんが、ベトナム料理講座を開催しました。参加した東アジアの子どもたちは、ベトナム料理を美味しく堪能し、話しました。



今月の表紙

1月3日に行われた「二十歳の集い」で一枚。艶やかな振袖や真新しいスーツに身を包み、旧友や恩師との再会を喜ぶ二十歳の皆さん。この瞬間の思い出は、一生消えることはないでしょう。お子さんが二十歳を迎えられた保護者の皆様、お喜びもひとしおのことと存じます。長きにわたる子育て、お疲れ様でした。親子で盃を交わし、「自分たちの若け頃は～」と語り合う日が楽しみです。

編集後記

いよいよ2025年がスタートしました。本年も皆様にとって素敵な1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。▶新春特集として、新田町長と移住者4名による座談会を行いました。錦江町以外での暮らしを経験された方々だからこその視点でお話いただけて、私自身も改めて本町の魅力に気付かされました。ご協力いただいた渡瀬さん、野口さん、鍋田さん、伊藤さん、ありがとうございました。▶二十歳の集いで撮影をしながら、「自分の成人式もついでこの間だったな」と懐かしい気持ちに。でも、よく考えてみると、もう間もなく2回目の二十歳がやって来るのではないかな…(笑)時の流れの速さが身に染みる年始となりました。(小鷹)

ニュース

神川小 人権の花運動閉会式



12月11日、神川小で「人権の花運動閉会式」が行われました。6年石窪希莉さんは「ひとりひとり個性を大事に生きていこう」と標語を発表しました。

ニュース

夢発見プログラム



12月7日～8日の2日間、自分の夢について大学生と一緒に考える「夢発見プログラム」が開催されました。大学生と深い対話を行う様子が見られました。

2025年農林業センサスが実施されます

農林水産省では、令和7年2月1日現在で、「2025年農林業センサス」を実施します。調査員が農林業関係者の方々に訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いします。調査票に記入された事項については、統計以外の目的には使用されませんので、ご協力をお願いします。



町営住宅 空き家情報

(12月26日現在)

大根占地区▶

・町営	池田教職員団地	1戸
・町営	今町団地	1戸
・公営	港団地	1戸
・特公	芝山団地	1戸

入居申込の書類が、募集期限内に全て揃わない場合は、申込を受け付けません。入居希望に関するお問合せは本庁建設課(☎ 22-3033)までご連絡ください。

空き家バンク 登録情報

(12月26日現在)

地区	戸数	地区	戸数
城元	2戸	麓	2戸
馬場	3戸	大原	1戸
神川	5戸	川原	1戸
池田	3戸		

空き家バンク情報▶
詳細情報は町ホームページをご覧ください
問合せ▶政策企画課 ☎ 22-3032

休日の在宅当番医

月 日	病 院 名	電話番号
1月19日	肝属郡医師会立病院	22-3111
1月26日	肝属郡医師会立病院	22-3111
2月2日	藤崎クリニック	22-2238
2月9日	津崎 医 院	24-2153
2月11日	肝属郡医師会立病院	22-3111
2月16日	大根占医院	22-2658

諸事情により変更する場合があります。ご利用の前にお問い合わせください。

最新の在宅当番医は肝属郡医師会ホームページに掲載
(公財)肝属郡医師会HP▶

人口の動き

2024年(令和6年)12月26日現在

		前月号比
人 口	6,164人	(△ 1)
男	2,946人	(△ 4)
女	3,218人	(3)
世帯数	3,455戸	(7)

2024年12月1日～12月26日届出

転入・出生	19人
転出・死亡	20人

住民基本台帳法改正に伴い、外国人住民も含まれます。(国住民税務課 ☎ 22-3039)

子育て・各種教室

問合せ▶健康保険課 ☎ 22-3044

開催日	行 事 名	場 所	時 間
1月14日☎	健康相談	田代保健福祉センター	受付 9:00～10:00
1月14日☎ 2月6日☎	母子相談	田代保健福祉センター 町総合交流センター	受付 10:00～11:00
1月15日☎ 2月4日☎	離乳食教室(予約制)	町総合交流センター	9:30～
1月24日☎	マミー運動教室 妊婦教室	町総合交流センター	10:00～ 受付 13:00～13:15
1月29日☎	乳幼児健診	町総合交流センター	受付 12:45～13:15

相 談

問合せ▶総務課☎ 22-0511/ 支所住民生活課☎ 25-2511

内 容	月 日	場 所	時 間	問合せ
無料法律相談	毎週月曜日	南大隅地区司法書士 法律相談センター	13:00～16:00 ※第3月曜は 14時まで	鹿児島県 司法書士会
行政相談・ 心配ごと相談	1月28日☎ 2月13日☎	田代保健福祉センター 役場本庁3階	9:00～12:00	住民生活課 総務課

行政相談・心配ごと相談は日程が変更になる場合があります。事前にご確認ください。

2025.1.9 発行 広報きんこう版 南大隅高校だより

第42回校内長距離走大会

11月22日、第42回長距離走大会が行われました。生徒たちは、地域の皆様による沿道からの温かい声援で、いつも以上に力を発揮して走りきることができました。ご声援ありがとうございました！



錦江町漁業PR動画公開

本校3年生が観光ビジネスの授業で作成したPR動画、『鹿児島県肝属郡錦江町の漁業を地元の高校生が全力で応援!!』が公開されました。高校生の「一次産業の漁業を応援したい!」という思いが詰まった動画になっています。動画は水谷弘嗣さんのYouTubeにて公開中です。

PR動画はこちらのQRコードから！



芸術鑑賞会

12月3日、錦江町文化センターにて劇団アルファによる『爺さんの空』を鑑賞しました。太平洋戦争時、特攻隊員として鹿屋に配属された主人公の回想を通し平和の尊さや生きることの意味を問う内容で、戦争と平和について深く考える良い機会となりました。



第 19 回 花瀬公園まつり 駅伝大会

令和 7 年

3 / 16 日

少雨決行

小学生の部 ▶ 10:00 START

中学生・一般の部 ▶ 10:01 START

花瀬公園周回コース

春の訪れ告げる花瀬駅伝大会を 3 月 16 日に開催決定！花瀬公園周回コースを 7 人で周回し競い合います。また、お楽しみ抽選会、飲食ブースもあります。多くの方のご参加をお待ちしています。

エントリー部門

小学生の部 / 中学生の部 / 一般の部
チーム編成 監督 1 名 / 選手 7 名 / 補欠 3 名

参加料 (1 チーム)

中学生以下 3,000 円
高校生以上 5,000 円

コース

●小学生の部 (全長約 9km)

区間	周回数	出発地点 ~ 終了地点
1 区	1 周	花瀬でんしろう館下 ~ 花瀬でんしろう館グラウンド
2 区	1 周	花瀬でんしろう館グラウンド
3 区	1 周	
4 区	1 周	
5 区	1 周	
6 区	1 周	
7 区	1 周	

●中学生・一般の部 (全長約 15km)

区間	周回数	出発地点 ~ 終了地点
1 区	2 周	花瀬でんしろう館下 ~ 花瀬でんしろう館グラウンド
2 区	1 周	花瀬でんしろう館グラウンド
3 区	2 周	
4 区	1 周	
5 区	2 周	
6 区	1 周	
7 区	2 周	

申込締切 ▶ 令和 7 年 2 月 14 日 (金) まで

申 込 先 ▶ 花瀬公園まつり駅伝大会実行委員会 (教育委員会内)
〒893-2302 肝属郡錦江町城元 963 番地 錦江町総合交流センター

申込方法 ▶ ① 申込書を教育委員会に提出
大会パンフレット・参加申込書は、錦江町教育委員会で受け取るか、錦江町ホームページからダウンロードしてください。
② インターネット申込
下記の URL からアクセスするか、二次元コードを読み取りお申込みください。

URL ▶ <https://logoform.jp/form/TxRq/836458> 二次元コード ▶ 

※大会当日は、町民の皆様にご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

問 錦江町教育委員会 ☎ 22-0517